



内陸アジア史学会 50 周年記念公開シンポジウム

内陸アジア史研究の 課題と展望

2010 年

11 月 13 日 (土) 13:00-17:30

早稲田大学 小野記念講堂

13:00- 開会宣言

趣旨説明 梅村 坦 (中央大学)

13:10-14:30 基調講演

森安孝夫 (大阪大学) モンゴル時代までの東部内陸アジア史：
実証研究から世界史教育の現場へ

堀川 徹 (京都外国語大学) モンゴル時代以降の西部内陸アジア史：
実証研究の深化と展開の可能性

14:45-16:00 パネル報告

林 俊雄 (創価大学) 考古学研究の 20 年

稲葉 穰 (京都大学) モンゴル征服以前の西トルキスタン

森川哲雄 (九州大学) ポストモンゴル時代の北アジア研究について

小松久男 (東京大学) 近現代史研究の眺望と課題

中見立夫 (東京外国語大学) 近現代モンゴル・チベット・中国東北研究の特質

16:05-16:35 総合コメント 桃木至朗 (大阪大学)

16:50-17:30 討論



主催：内陸アジア史学会

<http://www.soc.nii.ac.jp/sias/>

お問い合わせ先：siasmail@mail.goo.ne.jp

共催：NIHU プログラム イスラーム地域研究東京大学拠点

早稲田大学文学学術院創設 120 周年記念事業

Photo by SUZUKI Kosetsu / YANAGISAWA Akira